



富山県造形教育連盟会報「糸」について
 富山県造形教育連盟は、幼、小、中、高の先生方が参加する、県芸術文化協会に加盟の文化振興の任意団体です。造形活動で大切にしたい発達段階という縦のつながりを考えることができる研究組織です。各校種の研究団体の横糸と、県造連の縦糸により、造形教育という織物が美しくつくり出されることを願い、会報を「糸」発行しました。本連盟の会員限定ページにて公開します。

子供理解

富山県造形教育連盟 副会長 伊勢威知郎

今般のコロナ禍において、図画工作科・美術科は授業等、その影響や制約を各教科の中で一番受けなかったのではないかと感じています。もちろん「造形遊び等の共同制作」や「会話による作品の相互鑑賞」等、少なからず不自由なこともありました。しかし、『作品を制作・鑑賞する』という教科の大前提において、軸は揺らぐことがなかったと思っています。

ではその中で、私たち図画工作科・美術科の授業改善等ほどのように進められたのか。中身を本当に検証することが試されています。ICT機器の発展により、“道具”の進歩は急速に進み、子供たちは私たち大人より柔軟に（自然に）対応しています。よって時代の変化とともに、私たちの指導方法も変わるところがあります。しかし、子供たちの感性や発想をいかに引き出してあげることができるか、今も昔も変わらない『子供理解』を今後も大切にしていきたいものです。その『子供理解』における“補助エンジン”的な県造形連盟で、互いに知恵を分かち合い、悩みを共有しながら元気ががんばっていきましょう。

理事総会（書面決議）

Forms による決議は、全ての議案において賛成過半数で可決されました。ありがとうございました。
 本会は、富山県芸術文化協会加盟団体であり、3事業は富山県主催の県民芸術文化祭、富山県芸術祭参加行事です。また、県小・中学校長会、県私立幼稚園・認定こども園協会の後援をいただいています。

富山県造形教育連盟の今後の予定

第53回 富山県造形教育作品展
 令和4年11月19日(土)～12月4日(日)
 場所：富山県教育記念館1F
 第25回 富山県造形教育シンポジウム
 令和4年12月4日(日) 9:20～11:45
 場所：パレプラン高志会館
 テーマ：子供の思いに寄り添う(仮) 感染症対策をとっての実施となります。活動については、下記のホームページにて確認ください。
<http://t-kenzouren.web.wox.cc/>

会報「糸」原稿募集

長年積み上げられた富山県造形教育連盟の会員各位の実践、読書紹介、実践紹介、随想等を、会報を活用し情報交換したいと考えています。ご協力お願いします。
 ※ 事務局安岡までデータをお願いします。

yasuoka-toshiyuki@toyama-city.ed.jp

実践紹介 2

南砺市立城端中学校 藪陽介

第3学年「石の人～岩城信嘉～」の実践です。岩城信嘉(1935-2008)さんは、地元城端が生んだ全国的に名の知られた彫刻家です。元県立近代美術館のあった城南公園に設置してある三角の石彫モニュメントを始め、全国に作品があります。本校の前庭にも大きなモニュメントがあります。また、アメリカを舞台に、巨大な石柱を海岸に置き、満ち潮の浸食により倒れるというアースワーク作品もあります。

生徒たちは、タブレット端末を活用し、前庭の作品を一番好きなアングルから撮影した写真をもとにデジタルレポートを作成しました。それらの感想を持ち寄り、相互発表、話し合いを通して、様々な感じ方の違いに気付き、鑑賞を深めました。この題材を通して、美術の広がりや、地元作家に関心をもつきっかけになってくれたらと願っています。



おすすめの読書紹介2

富山市立堀川小学校 安岡俊之

『小学校図工指導スキル大全』 岡田京子編著

「目の前の子どもたちが夢中になって取り組める図工にしたい」という気持ちは、昔から変わりませんが、「子どもの感性は人それぞれだから、教師は余計なことは言わない方がよい」と考えていた若い頃の自分は、いかに独りよがりだったのかと昔の実践を回想しながら思ってしまう。授業への熱意と子どもたちへの愛情だけでは、授業は充実しません。やはり、こちらの腕(スキル)は必要です。

「スキル」というと、何か子どもにテクニックを与えるといったイメージをもつ人もいるかもしれませんが、本書は、子どもたちが楽しく学習ができるための「60のスキル(ポイント)」が項目ごとに分かりやすくまとめられています。

図画工作科の本といえば、題材事例集のようなものは多いですが、この本の特徴は、指導計画や授業、振り返りや評価といった一般的な項目のみならず、「作品提示」、「作品保管」、「図工室経営」といった内容にも触れられていることです。興味のあるページから読んでみてください。本書を通して、自分に足りないものを補充し、実践力を高めたり、若い人を育てるために活用したりできそうです。

〈随想 つれづれに 1〉

造形連盟夏期実技研で・・・

富山市立四方小学校 宝田淳二

8月1日に大沢野小学校で造形教材研が行われました。20回目の節目となりました。記念すべき第1回も大沢野小学校で行われたという、造形連盟にとっての聖地での開催となりました。ちなみに、私は、2回目の講師をしました。大沢野小学校の窓ガラスに油性マジックで絵を描きました。

久しぶりの夏休み開催ということもあり、いつもと違い小学校の先生方の参加が多く、自分の教室でもやってみようという思いが伝わる研修会となりました。詳細は、造形連盟ホームページをご覧ください。講師の先生方ありがとうございました。